

1 令和3年度実施状況について【資料1】

- 活動を断念した組織が毎年あるが、高齢化とか気になるが、説明にもあったように、他の組織と合併するなど地元の方たちが積極的に考えてそうしようという意識はあるのか、それとももう断念となっているのか。（委員）
 - ある市の場合は、このままだと自分の周りの農地が廃れていくという危機感があったので周辺に声掛けをして再開に至った事例で、隣の組織などと合併した方が事務の軽減になるが、集落の結びつきが強いあまりに隣と合併した方が多い。（事務局）
- 昨年度蜂刺されの事故があまりにも多かったことから蜂刺されに対して特に気をつけることはあるか。（事務局）
 - 基本は、事前にどこに生息しているのか確認するのが一番の安全策。
もし気象庁の長期予報がもし正しければ、今年度は夏暑く、発生も早くて活動が活発な期間が結構秋の終わりまで続くという状況なので、このままいくと昨年度よりも今年度の方が、蜂被害が出やすい傾向。
草刈りとか作業をする場合、小屋の軒先などに生息しやすいので出来れば作業前にスズメバチの巣が無いか確認することを周知すべき。（委員）
- 草地の取組面積拡大に向けての取組で、市町村と意見交換を行ったとのことだが、詳細はどうだったのか。（委員）
 - 市町村の現状を聞き、他組織の事例を紹介したところだが、草地で実施する主なものが草刈りや道路の補修程度あること、交付単価が田に比べ安価であることから拡大に至っていないのが現状。（事務局）
- 希少野生動植物配慮については、埋蔵文化財と同じで出てくると正直面倒くさい、よく分からない、やっかいていう意識がかなり強いと思われる。
外来種の駆除抑制というのが、将来、より大きな課題としてクローズアップされてくる可能性がある。外来種を駆除しましょうという情報の方が問い合わせしやすい。外来種への配慮を含めた活動をして、守るのも駆除するのも教えてくださいというようにすれば、場合によっては外来種に対しての問い合わせの方が先に進み、それと同時にその中で希少種についても関心を持ってもらうという方向性に持っていきやすいのではないか。（委員）
 - 外来種駆除を実施している事例を紹介や、目で見てこれがそういう外来種と分かる写真などを広報で紹介しながら、外来種駆除へ誘導できるよう検討をしていく。（事務局）

以上により、令和3年度の実施状況について了承を得た。

2 令和4年度の取組方針（案）について【資料2】

- 具体的な数字でカバー率が低い原因を草地とか畑が多いからというのも要因の一つではあるが、この要因を取り除いてもやはり低いのかどうかという分析し、面積拡大とならない要因を分析して対策をとっていく必要がある。なお、分析する際に中山間直接支払制度の取組面積との相関なども検討すること。

資料については、現状と課題と合うように具体的な支援策し、抽象的な記載ではなく、戦略的にまた目標値を設定するなど検討すること。

また、冒頭に県の取組方針案を記載すること。（委員）

→ 次回委員会で案を示すこととする。（事務局）

- 若手世代への引継ぎ問題、これは非常に大きな問題でこういうことを岩手県が先んじて県と市町村と連携して良い事例を作っていただきたい。

例えば、若手のグループを調べてそこに情報を流し、県も支援し、親への説得も県や市町村がやりますとか、親世代と一緒にやらせるのではなくて若い人は若い人で好きなことをやらせて、そしたら色々地域のこともわかってくるし関心も増えてきて将来地域の担い手に育っていくもの。（委員）

- 親世代は親世代で多面的交付金をやってもらい、若い世代は若い世代で集まってやってもらうのも良いのでは。

多分この多面的機能支払交付金という言葉聞いたことはあるけど実際どのような内容か若い人たちが知っているかどうかというところもある。

あと、新規就農の方たちも増えていると思うのでそういう人たちにも使ってもらえるように、まず若手は若手で多面的交付金の活動をしてもらうようPRをしてもよい。（委員）

- 地域づくりの世代交代のやり方がまさにそれで、親世代と一緒にやらせるのではなくて若い人は若い人で好きなことをやらせ、色々地域のことも分かり、関心も増えてきて将来地域の担い手に育っていく。

4Hクラブなどの若手に多面的交付金制度の周知を図ってやりたいことに使ってもらいたいなそういうことをやったほうがよい。

また、多面的交付金は色々なことが出来るので、若い人と年配者で活動を分けるようなことを今年度から検討していただきたい。（委員）

→ 検討していくこととする。（事務局）

- 活動を断念しそうな組織っていうのは予めわかるものか。事前に把握する必要。（委員）

→ 事前に把握するようする。（事務局）

以上により、令和4年度の取組方針（案）については今回の意見を反映して資料を修正し、次回委員会で再説明することとした。

3 第2回多面的機能支払制度推進委員会の開催について【資料3】

- 第2回多面的機能支払制度推進委員会の開催について、事務局から説明。

4 その他

○ 農村 R M O について、事務局から説明。

○ 先日、農業振興課の方々と農村 R M O について話をしてこれは県の方で戦略が必要である旨話をしたが庁内ではこの件については何か動きはあったか。
(委員)

→ 農業振興課から情報提供があったのみ。(事務局)